



## 10月の園だより

社会福祉法人 であいの里 さやま保育園  
2023年 10月1日

＊＊保育目標 聞法 よくききます＊＊

- ・先生やお友だちのお話をよく聞き、自分の考えも言える。
- ・季節の変化に気づき、自然事象にも興味を持つ。

### 今月の行事予定

2・16日 礼拝 5日 内科検診(11/16に変更)

11日 避難訓練 発育測定(11日 そう・きりん

12日 うさぎ・りす 13日 あひる・ひよこ)

17日 いもほり(ほしいちご) 18日 いもほり(もも)

19日 クッキー作り 20日 誕生会

24日 佐山地区人権の里集会参加 (5歳児)

27日 未満児参観日・秋のえんそく 30日 やきいも

31日 ぐりぐらえほんかん

※28日(土)土曜日特別保育がありません



### 「お休みの人たちの分までがんばろう」

9月から、西側駐車場での運動会の練習が始まり、子どもたちの元気な声が聞こえてきました。子どもたちのやってみたいが、たくさんつまった運動会がどんどん広がって来ました。

ところが、直前になりインフルエンザの流行。。。運動会に参加できなくなってしまった子の保護者から電話が続き、「子どもがショック受けていて、なんと言葉をかけたらいいか…」という声に、悲しい気持ちでいっぱいになりました。お休みしたくないのに、お休みしなければならぬお友達の為に、どうしたらいいんだらう？がんばってきた気持ちに、どうしたら応えられるのか？

「元気になったらみんなで運動会ごっこをしよう！！」と、子どもたちと先生たちが決めてくれました。「西側駐車場で、リハーサルのように、もう一回、運動会しよう！」「お家の方にも見せたいから、小池先生、動画を撮っていただけませんか？」と、みんなの温かい声がたくさん聞こえてきました。

しかし困ったことがでてきました。リレーの選手でした。同じ子が2回走る。それでも足りない…。リレーには出たくない、走りたくないという希望をした子たちに先生たちは、声をかけてみました。「お友達が病気でリレーを走ることができなくなってしまったの。出てくれない？」すると「わかった！いいよ！」と何人もの子が自分の気持ちよりも、みんなの事を考えて、走る決意をしてくれたのです。保護者会競技においても同じでした。声をかけた方々が快く「それならば参加しましょう。」と受けてくださいました。

今年の運動会は、たくさん子どもたち、保護者の方、先生たちが参加できず涙を流しましたが、お休みの人たちの分までがんばろうと、温かい気持ちがたくさん集まった運動会でもありました。



### 【法話】 六つの心(迷いの心)

先月9月30日のきららドームでの運動会には、温かい御声援有り難うございました。新型コロナウイルス感染症は制限緩和されても、季節はずれのインフルエンザ流行で参加出来ない園児・保護者・職員があったことが残念でしたが、話し合い・準備・練習から、御理解御協力あったからこ、当日を迎えることができましたこと、御礼申しあげます。

私たちはみんな「心」をもっています。でも、その心は、一人一人みんな違います。そして私一人の心でも、一瞬一瞬ひとときも同じ心でいることはありません。仏教では、六道といって、私たちの心は大きく分けて六つに変わると説かれています。

じごく  
地獄の心(人を責めたりいじめたりする鬼のような心)

がき  
餓鬼の心(あれが欲しいこれが欲しいという心)

ちくしょう  
畜生の心(恩や恥を知らない心)

しゅら  
修羅の心(怒っているときの心)

にんげん  
人間の心(苦しいことがいっぱいの心)

てんじょう  
天上の心(大喜びで自分のことしか考えない心)

の六つです。私たちの心は、朝から晩まで、生まれて死ぬまで、この六つを繰り返します。これが六道輪廻で、私たちの迷いの姿なのです。六道輪廻は、死後の輪廻ではなく、今、生きている時に輪廻しているから、それを迷いというのです。

迷いを迷いと知らずに生きている私たちが、この迷いの世界から出て、さとりの世界へと至る道を、仏教・仏道と言います。

合 掌